



『貧困世代への提言』と題して、講演会

4月6日、千葉市民会館にて反失業・反首切り・反合理化千葉県共闘会議と国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議共闘の主催で講演会が開催されました。

講師には、ベストセラーとなった「下流老人」の著者の藤田孝典氏（36歳）をお呼びしました。

今、「働き方改革」と称し、有期雇用の無期への変更、ダブルワーク、残業代ゼロ、首切り自由など、労働者の思いと真逆の労働法制の改悪を目論んでいます。

『格差と貧困』を無くし人間らしく働き続け、生き続ける社会の実現に向け、学習し行動しましょう。

「現場を通じて、なぜホームレスの人が生まれるのか、雇用の構造や非正規労働の問題、社会構造や政治の仕組み、そのような全体を含めてアプローチし、動いていく。これこそあるべき支援活動である」など語っていただきました。

藤田さんの最新版の『貧困クライシス』のはじめにも書かれていますが、「日本は貧困が広がり続けている。それも驚くほど速いスピードで。気づいたら身近に迫っていて、無動きができなくなっているかもしれない。これまでも私は『下流老人』や『貧困世代』という言葉で警鐘を鳴らしてきている。本書で

は、そんな拡大し続ける貧困について、全世代を網羅してみたい。」と述べられています。話の内容もおもしろく、今日の参加者は若い人がいませんね。今日、参加された方は今までの労働運動を活かして、もう20年ほど生きてください。どうか、今の若い人たちと接して話をしてください。ユニオン運動や今、話題になっている「こども食堂」にも顔を出してください。貧困には「絶対的貧困」と「相対的貧困」があり、路上で寝なければならないような壮絶なものを絶対的貧困と呼ぶ。日本では、そうではない、健康で文化的、そして人間らしい生活ができないようなもの、いわゆる相対的貧困が拡大しているのです等と述べています。

会場も久しぶりに多くの参加がありました。懇親会には20名余りの参加者で盛況でした。

藤田孝典さんのプロフィール

1986年生まれ

- ・支援の在り方に関する活動と提言を行う。
- ・NPO法人ほっとプラス代表理事。
- ・聖学院大学客員準教授（公的扶助論）。
- ・反貧困ネットワーク埼玉代表。
- ・ブラック企業対策プロジェクト共同代表
- ・著書『下流老人』『貧困世代』など多数

働き方改革法案反対全国キャラバン

千葉でも毎年恒例の県内キャラバンを5月に行っています。

全国から、長時間、ただ働きに苦しむ現場をつなぐキャラバン行動が立ち上がった。ナショナルセンターの枠を越えた多くの労働組合の賛同を得て、全国各地で働き方改革一括法案反対を広げる全国運動で、国会審議のヤマ場の5月22日に東京日比谷公園で大集会を実現させようと計画をしています。